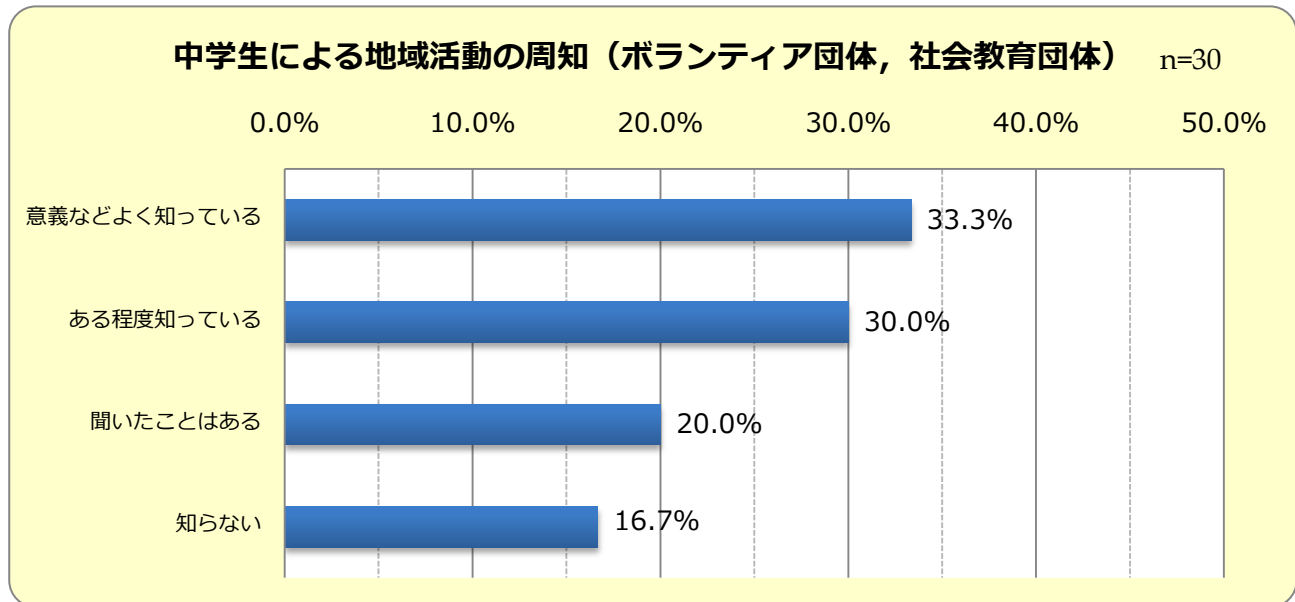
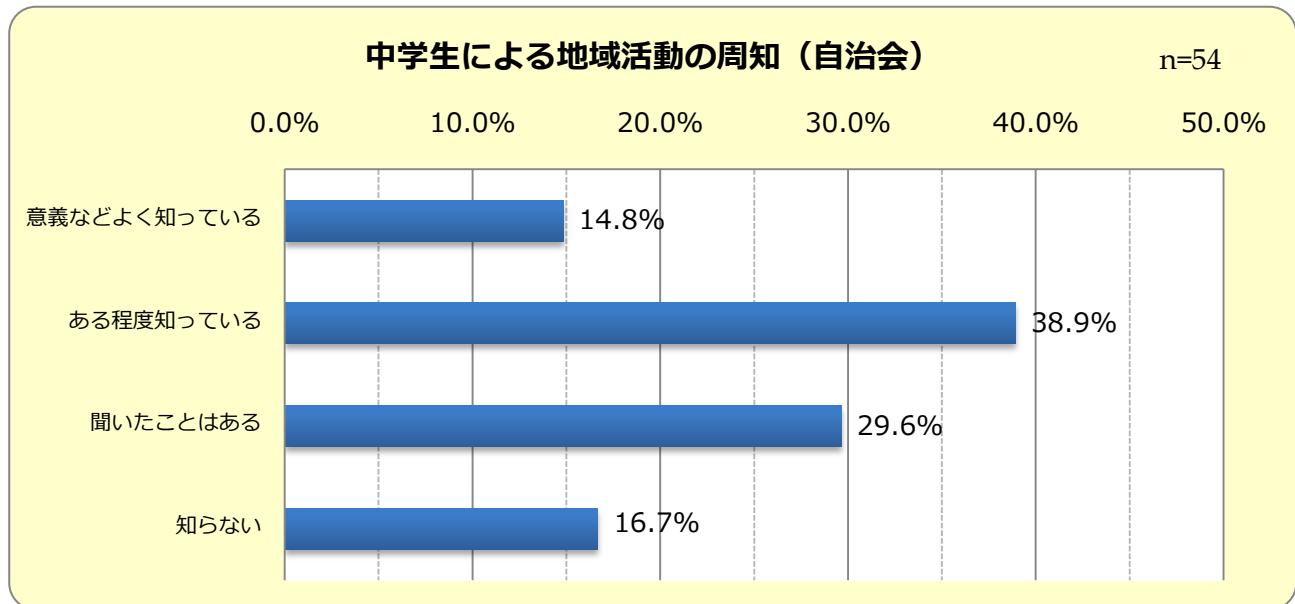


第4節 地域団体の地域活動に対する意識調査

4-1 中学生による地域活動の推進に対する周知

◇「中学生による地域活動の推進」の周知率は約6割である。

質問 壬生町教育委員会では平成24年度から中学生による地域活動を推進して参りましたが、このことについてご存じでしたか？

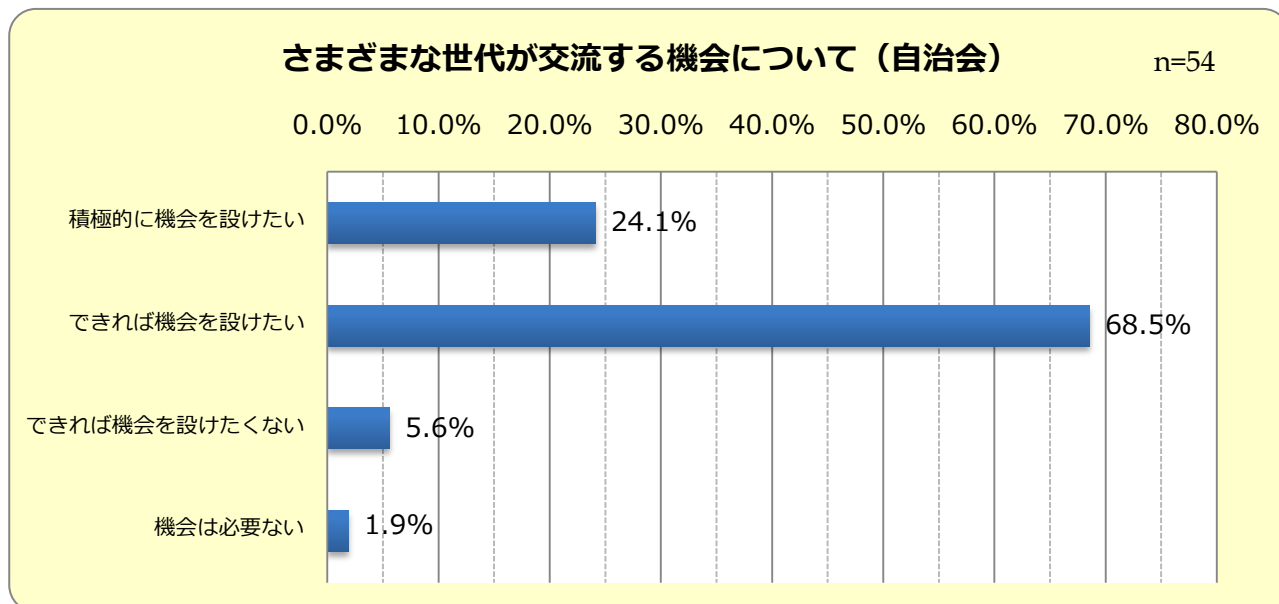


中学生による地域活動に対して自治会よりもボランティア団体，社会教育団体の方が周知率が高い。中学生による地域活動が推進されていることを「ある程度知っている」「聞いたことがある」と回答している自治会は全体の69.4%であった。自治会への啓発として中学生による地域活動の推進リーフレットを回覧用として配付してきているが，趣旨等を毎回掲載するなどの工夫が必要である。

4.2 さまざまな世代が交流することについて

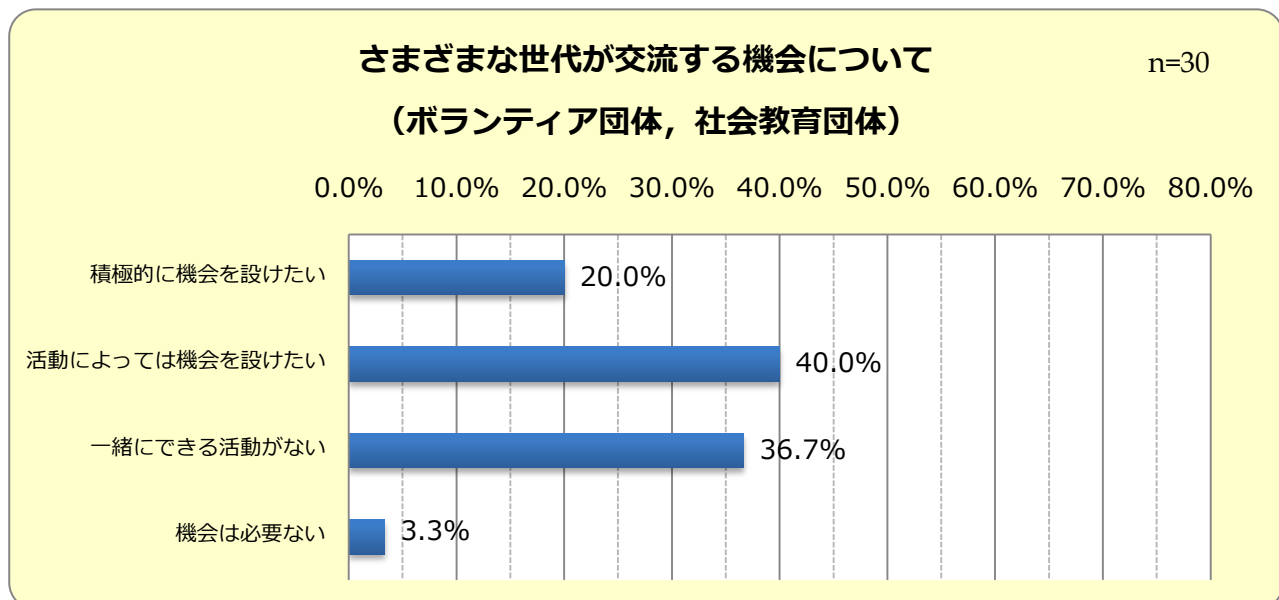
◇多くの地域団体がさまざまな世代が交流できる機会を望んでいる。

質問 自治会の行事や活動で様々な世代の人たちが交流する機会についてどうお考えですか？



9割を超える自治会長が、さまざまな世代が交流できる機会を設けたいと考えている。

質問 貴団体の中学生や青少年と一緒に活動することについてどのようにお考えですか？



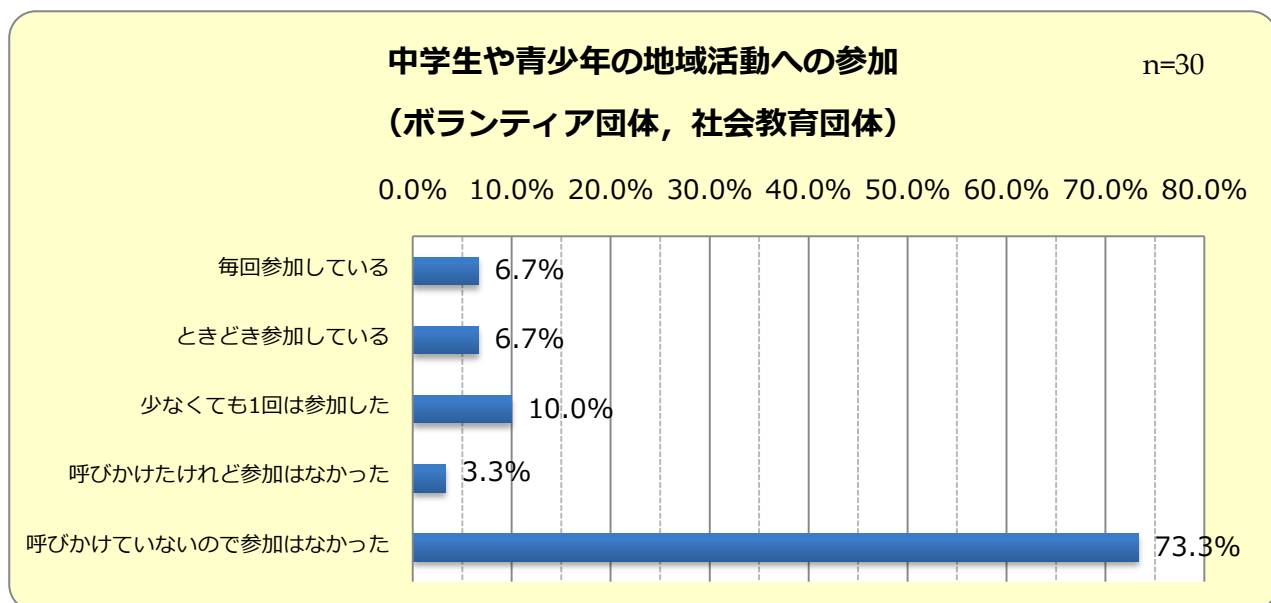
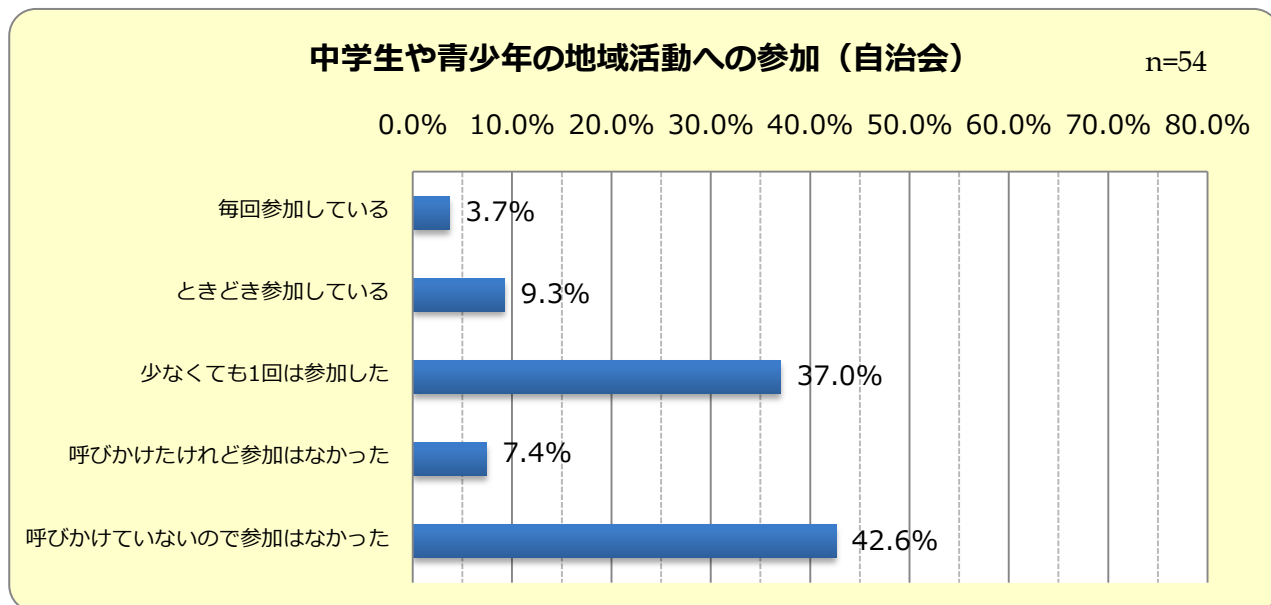
6割のボランティア団体や社会教育団体が中学生や青少年と一緒に活動を設けたいと考えている。

一方、活動の性質上、一緒に活動する機会が設けにくいと判断している団体が約4割ある。

4-3 地域団体による活動への中学生や青少年の参加状況

◇多くの団体がさまざまな世代の交流を望んでいるが、中学生や青少年への呼びかけが行われていない現状がある。

質問 貴団体が行っている行事や活動に、ここ1年の間で中学生や青少年が参加したことがありますか？



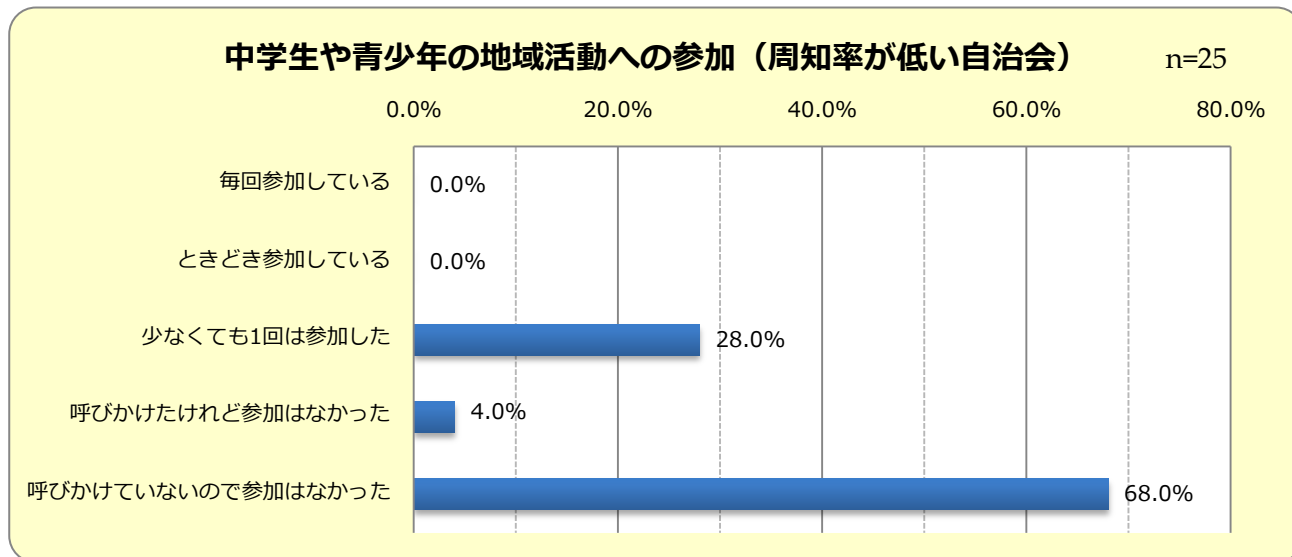
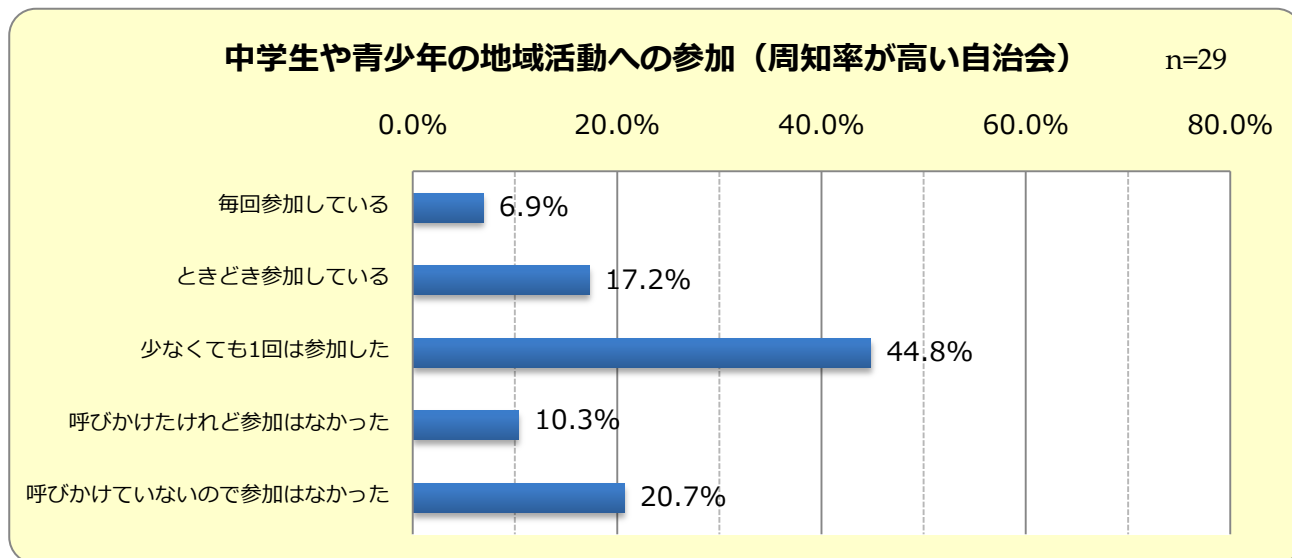
約半数の自治会では、行事や活動に中学生や青少年が参加していることが分かる。しかし、4割を超える自治会、7割を超えるボランティア団体、社会教育団体で中学生や高校生の参加を促すような呼びかけが行われていないことも明らかになった。さまざまな世代と交流する機会を設けたいと考えている団体が多数あるが、その実現に向けた積極的な呼びかけが行われていない現実もある。

この結果から分かるように、地域活動に参加する中学生が増えているにもかかわらず、それを受け入れ、活動の機会を提供する団体の数が決して多いとはいえないのが現状である。積極的に中学生や青少年が活躍できる機会を提供し続けてきている各団体への負担が増えているともとらえられる。

4.4 中学生による地域活動の推進についての周知率と中学生や青少年の参加状況の比較

◇中学生による地域活動の推進についてよく知っている自治会ほど、中学生や青少年が自治会の行事や活動に参加している。

中学生による地域活動の推進についてその意義をある程度理解している自治会と、あまり中学生による地域活動の推進について知らない自治会とで、中学生や青少年の自治会行事への参加状況についてどのような違いが生じるか分析を加えた。



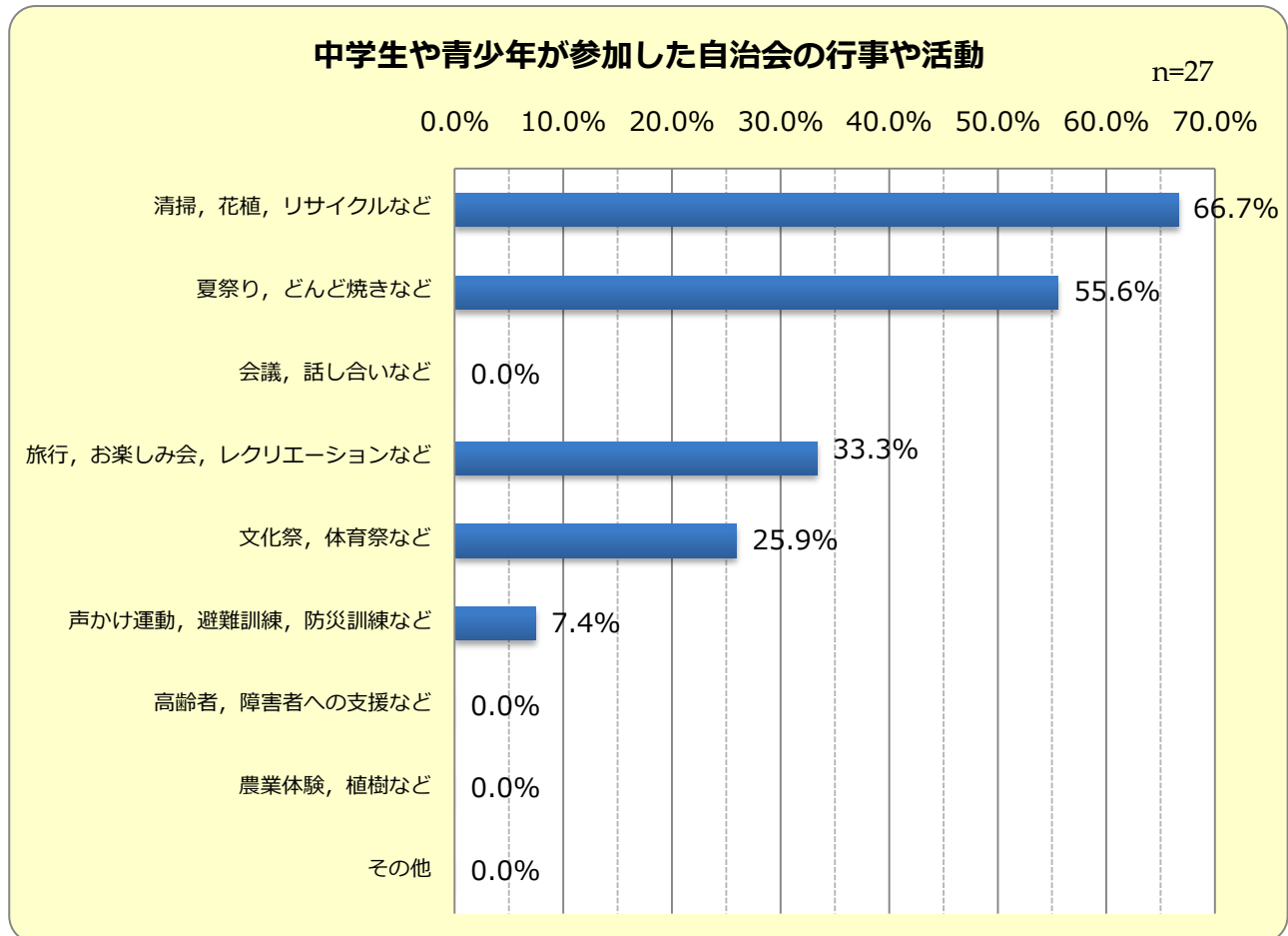
青少年による地域活動を推進していく上で、その意義について周知をはかれるよう啓発していくことが課題である。自治会に関しては、中学生による地域活動についてその意義についてある程度把握している自治会の多くで、少なくとも1回以上の中学生や青少年の参加があった。

このことから、地域団体に向けての啓発が青少年による地域活動を活発にしていくために必要なことであるということが明らかになったといえる。

4-5 中学生や青少年が参加した地域活動

◇自治会が行っている行事のうち、「清掃，花植，リサイクル」，「夏祭り，どんど焼き」などに中学生や青少年が多く参加している。

質問 中学生や青少年はどのような行事や活動に参加しましたか？（参加があった自治会のみ回答）

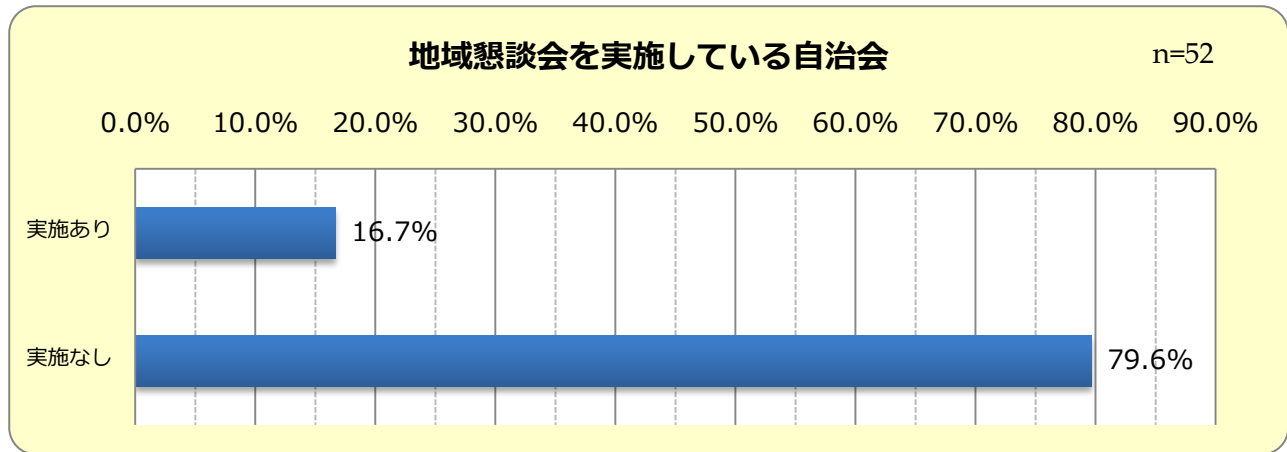


2-6の調査結果からも分かるように、中学生や高校生は実にさまざまな地域活動に関心をもっている。しかし、今回の調査では中学生や青少年が参加した自治会の行事にずいぶん偏りが見られる。このことから、自治会での活動の機会を増やし、多くの中学生や青少年に活躍できる場を整備していくことが今後の課題と考えられる。

4-6 自治会での地域懇談会の開催について

◇回答があった52自治会のうち、地域懇談会が行われている自治会は2割未満であり、子どもから大人までが集って懇談会が行われているのは4団体しかない。

質問 貴自治会では「地域懇談会」を実施していますか。実施していればどのような人が参加していますか。



地域懇談会が実施されている自治会は9団体、割合で16.7%しかない。そのうち、子どもから高齢者までさまざまな世代が集い懇談会が行われているのは4団体にとどまる。

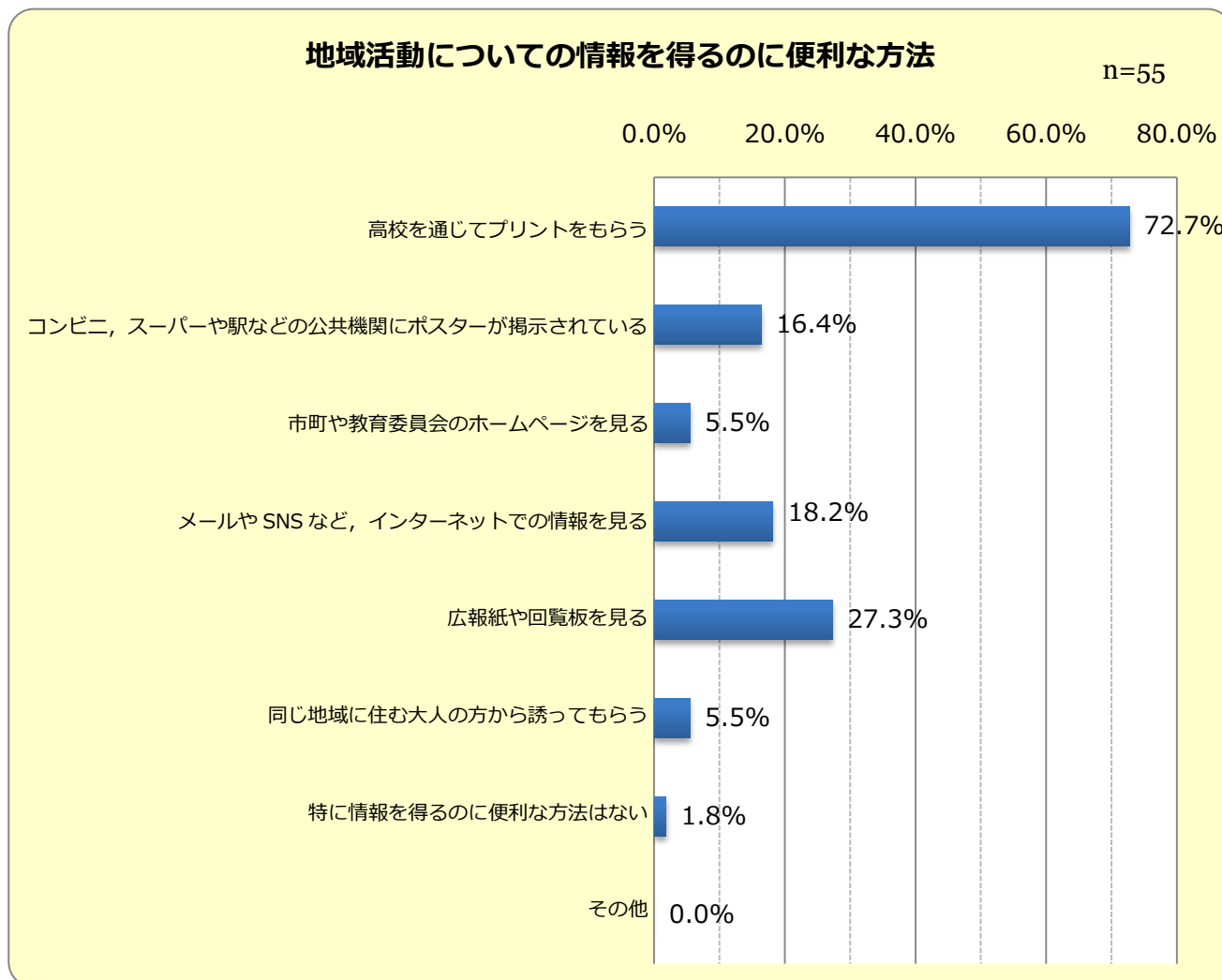
実際にさまざまな世代が集まったの懇談会を実施している自治会は子ども会と連携し、懇談会の後も子どもとご高齢の方がいっしょにふれあえるような機会を設けているところが多い。

第5節 青少年に向けて情報を発信するための調査

5-1 高校生が地域活動に関する情報を得るのに便利だと考えている方法

◇「高校を通じてプリントをもらう」「広報紙や回覧板を見る」ことが地域活動について情報を得るのに便利だと考えている高校生が多い。

質問 高校生が参加できる地域での活動や行事について情報を得るとしたら、どのような方法が便利ですか？



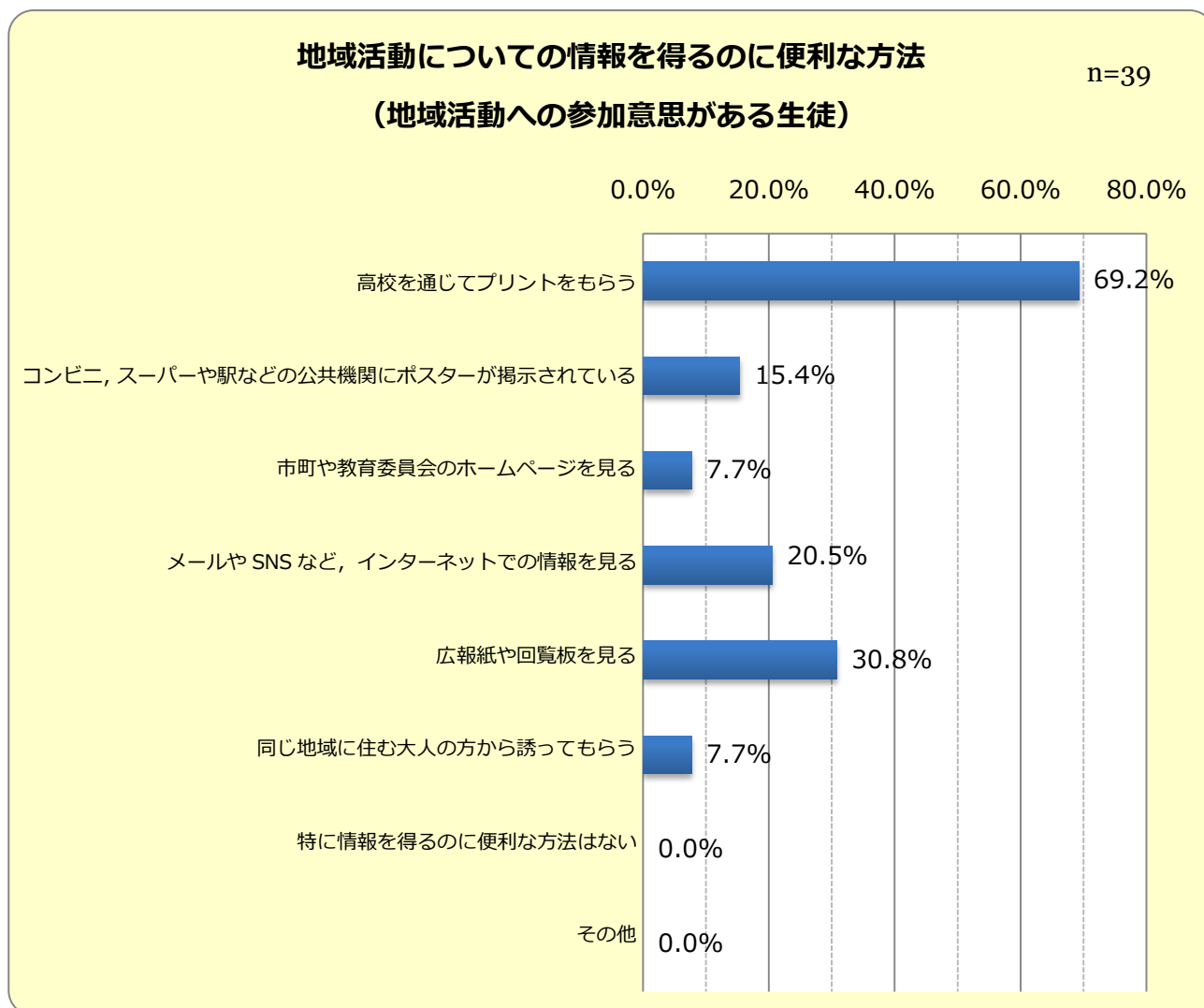
高校を通じてプリントをもらい情報を得ることに便利さを感じている生徒の割合が高い。広報誌や回覧板は見えていないだろうという思い込みがあったが、27.3%と4人に1人は便利であると回答していることがわかった。一方、SNSを利用して情報を得ることを望むのではないかと予想していたが、それほど多くの生徒が望んでいるわけではないことも分かった。さらに、教育委員会ではホームページを通じて中学生による地域活動の情報を発信してきたが、ホームページを見ると回答している生徒の割合が低いことが分かったので、改善していく必要がある。

記述 ポスターを貼って効果的な場所...学校

よく利用するSNS...LINE (5人), Twitter (3人)

5-2 地域活動に対して興味・関心が高い生徒の場合

◇地域活動に興味や関心がある生徒も、興味や関心がない生徒も、同じような方法で情報の収集を望んでいる。



高校生が参加できる地域活動や行事があったら参加してみようと思っている生徒を抽出した。

全高校生と比較してもそれほど大きな差は見られなかった。一般的な高校生も、地域活動に興味や関心のある高校生も、同じように学校を通じてのプリントから情報を入手することが便利な方法であると捉えていることが分かる。

6-1 中学生からのアイデア

◇中学生の視点からのアイデアがたくさん寄せられた。

質問 町や地域の行事で何か企画することができるとしたら、どのようなことを企画しますか。

165人の生徒からの回答結果をまとめた。

人との交流に関すること（回答数42）

- ・交流会（3）
 - ・いろいろな人との交流会（2）
 - ・地域みんなと交流できる行事
 - ・地域の人と交流できる行事
 - ・地域の人との交流がもっと深まるもの
 - ・年齢に関係なくふれあえる企画
 - ・年齢を問わず誰もが楽しめる行事
 - ・子どもから大人まで楽しめるもの
 - ・地域の人とたくさん交流できるような企画
 - ・どの世代でも参加できる行事
 - ・小さな子との活動
 - ・町民や地域の人とキャンプ
 - ・地域の人と楽しく遊ぶ
 - ・地域の人たちでアウトドア旅行
 - ・高齢者との交流
 - ・壬生町に住んでいる人との交流会（いろいろな年代の人とかかわりをもてる）
 - ・たくさんの人と交流できるよう子どもから大人までのレクリエーション
 - ・町の人が誰とでも仲良く交流できる企画
 - ・みんなが参加できて子どもから大人まで全員楽しめるもの
 - ・地域の人たちと年齢関係なく昔のあそびをする
 - ・子ども中心のお祭り（小さい子にも思い出をつくってほしい）
 - ・日本の昔遊び（昔の遊びを忘れないように子どもとの交流）
 - ・お楽しみ会（同じ地域に住んでいる人との交流を深められる）
- ・みんなでゲーム
 - ・一人一人が接することができる場
 - ・違う地域の人との交流
 - ・絆が深まるような製作
 - ・あいさつ運動（近所の仲を深めたい）
 - ・旅行（仲を深めるため）
 - ・町や地域で集まって話し合う
 - ・交流会（町の人たちとの関係を大切にできる）
 - ・旅行（町や地域の人と交流を深めるため）
 - ・子どもやお年寄りとの交流
 - ・スポーツを通しての交流
 - ・他の学校との交流会
 - ・外国人との交流
 - ・町の小学生とお楽しみ会
 - ・お年寄りをもてなす行事
- 大人の人と一緒に町内の清掃（大人の人と一緒によりふれあい生まれる）

イベントやお祭りに関すること（回答数45）

- ・お祭り・祭り（13）
- ・お楽しみ会（3）
- ・花火大会（3）
- ・他の町の人にも来たいと思えるお祭り
- ・壬生の素晴らしさを実感する壬生祭り
- ・お祭り，地区ごとの大縄大会
- ・町内会などでお祭り 中学生だけで企画するお祭り
- ・わたあめ祭り
- ・お年寄りでも参加できる祭り（お年寄りが見ているだけのお祭りを見たので）
- ・小中学生による祭り
- ・小さい子から大人まで参加できるお祭り
- ・町の人に楽しんでもらえる祭り
- ・屋台祭り
- ・かんぴょう祭り
- ・昔のあそびの伝承
- ・ハロウィンやクリスマスパーティー
- ・ハロウィンパーティー
- ・お店がたくさん出るもの
- ・ダンスコンテスト
- ・売れ残り半額市（リサイクル）
- ・ビンゴ大会
- ・食べ物販売
- ・旅行
- ・レクリエーション
- ・カラオケ大会
- ・壬生町全体でウォークラリー
- ・地域でのレクリエーション
- ・わんぱく公園で育てている野菜を収穫した子どもたちが売ったり，壬生町のお店が集まって何かを売ったりする。

福祉, ボランティア, 奉仕作業に関すること (回答数 24)

- ・草刈り
- ・募金活動 (家々をまわる)
- ・町をきれいにする
- ・リサイクル
- ・ペットボトル回収
- ・ごみ拾い
- ・道のごみ拾い
- ・ペットボトル集め (競争?)
- ・被災者支援ボランティア
- ・清掃ボランティア
- ・木を植えたりすること
- ・老人ホーム訪問
- ・ボランティア
- ・リサイクル活動
- ・募金活動
- ・ごみ拾い
- ・リサイクル活動 (ワクチンになるような)
- ・障害をもっている方との仕事
- ・町の清掃
- ・お年寄り, 子どもたち, 盲聾者とのレクリエーション
- ・お年寄りのための活動
- ・町中のごみを拾う
- ・月に1回地域を清掃する (地域の人と仲良くなり町もきれいになる)
- ・町全体での除草作業, ごみ拾い

文化・芸術・音楽に関すること (回答数 12)

- ・音楽祭 (4)
- ・美術作品の展覧会
- ・音楽発表会
- ・吹奏楽などの定期演奏会
- ・コンサートなど
- ・公民館を使っでの吹奏楽部の演奏
- ・中高生による合唱, 吹奏楽, オーケストラチャリティーコンサート
- ・作品展示や演奏会などみんなが楽しめるお祭り
- ・いろいろな楽器を演奏してもらう

スポーツや運動に関すること（回答数27）

- ・町でのスポーツ大会（7）
- ・球技大会（2）
- ・ボーリング大会（2）
- ・テニス大会（2）
- ・壬生町のミニ運動会
- ・小学から大人まで楽しめる運動会
- ・バント野球
- ・スポーツ関係
- ・スポーツ交流
- ・町の子どものスポーツ大会
- ・陸上競技大会
- ・地域の人たちとスポーツ
- ・ドッジボール大会
- ・町内運動会
- ・町全体の体育祭
- ・町内水泳大会
- ・体育大会
- ・マラソン大会

その他（回答数17）

- ・家族と離れて暮らす
- ・大きなデパートをたくさんつくってもらいたい
- ・F1レーサーによる公道でのデモンストレーション
- ・町の人が喜ぶ企画
- ・遊ぶ
- ・あいさつ運動
- ・みんなが来てよかったと思うような企画
- ・町が明るくなるような行事
- ・壬生のことをもっと知ることができる企画
- ・町を盛り上げる企画（いいところをみんなに知ってもらいたい）
- ・日本の伝統を伝えること（他の人にもっと日本の伝統にふれてほしい）
- ・楽しいこと
- ・壬生町の自然教室（木や花を協力して植えることでよりあたたかい町になる）
- ・壬生あいさつ運動
- ・町を活性化するために行事ごとに会をやる
- ・お食事会
- ・お任せします

6-2 高校生からのアイデア

◇ 高校生の視点からのアイデアがたくさん寄せられた。

質問 町や地域の行事で何か企画することができるとしたら、どのようなことを企画しますか。

10人の生徒からの回答結果をまとめた。

高校生のアイデアをまとめて掲載（回答数10）

- ・みんなで楽しめるもの。盛り上がるから。
- ・壬生駅から壬生高までバスを出して欲しい。
- ・お祭りの屋台のようなものを出して、地域の人と交流を深める。小さなグループに分かれて、計画・準備に携わる。
- ・地域に住んでいる外国人により地元を知ってもらうための交流会
- ・3月2日を「壬生の日」とし、休日にしてイベントをやる。
- ・年寄りが多いので、年寄りを元気づける。
- ・介護福祉や保育士の援助がしたい。人を助けられる活動がしたい。
- ・お祭り
- ・お祭りや〇〇大会など。子どもも大人も楽しめて、ひとが多く集まり、交流が増えるから。
- ・クリーン活動。街をきれいにしたいから。

6-3 保護者からのアイデア

◇保護者の視点からのアイデアがたくさん寄せられた。

質問 町や地域の行事で何か企画することができるとしたら、どのようなことを企画しますか。

35人の保護者からの回答結果をまとめた。

保護者のアイデアをまとめて掲載（回答数35）

- ・高齢者施設，単世帯の方との交流。少子高齢化で孤独になる方が増えると思うので，地域で皆守ることができればいいと思う。大切に作る心を青少年たちに持ってもらいたい。
- ・フリーマーケット。年齢関係なく，いろんな人たちが参加しやすいから。
- ・高齢者と子供たちが何かを一緒にやる機会を設ける。年代の違う人々とのふれあいがあるとよいと思う。
- ・土曜日に学校で勉強したり運動したりする企画
- ・天災の被害を受けた人々の助けになる活動
- ・地域ごとのレクリエーション
- ・老人会の人たちとの交流
- ・芋煮会や巨大かんぴょうまきづくり
- ・子どもと一緒に参加できるようなもの
- ・堅苦しくなく手軽に参加できるスポーツ交流会
- ・思川の清掃
- ・毎月フリーマーケットやバザーをやる
- ・壬生町卓球大会
- ・地域に根ざした行事の見直し，それを絶やさない
- ・障害児や障害者との交流，合同行事，小さい頃からノーマライゼーションを実体験で学び，理解できる大人になってほしい
- ・認知症の方々との交流
- ・家族対抗ボーリング大会（家族みんなで楽しめるから）
- ・農産物の物産展，B級グルメ店，スイーツ店などのチャンピオン大会，ソフトバレーボール
- ・映画鑑賞会→ティータイムで懇談会
- ・スポーツを中心としたコミュニティクラブ
- ・児童・生徒による音楽祭やダンス大会
- ・町全体の運動会の復活
- ・小学校ごとに遊びのボランティア
- ・ペットボトルキャップのリサイクル活動（ワクチンになる）
- ・老人のみの世帯や空き家の草むしりや手入れ（これから増えると思われるから）
- ・道徳を学ぶ講習会（世の中の人々の行動から判断して）
- ・スポーツ行事（部活をしていると参加したくても参加できないので）
- ・学生を支援する奨学金制度を作り地域活動に積極的な若者を育て貢献し合う
- ・道の駅でいろいろなイベント
- ・盆踊りの工夫 誰が行っても楽しめるように 自治会，育成会が分かれてしまっている
- ・若い子たち向けのイベント（若い子は音楽が好きだから夏フェスみたいなもの）
- ・親子で自然の中においてキャンプやバーベキュー等体を使ったアウトドア体験の企画
- ・PDCAで企画。野外活動のメリットを保護者が理解できれば
- ・老人会と小中学生の集い。先輩ママと新米ママの集い 互いの刺激になるようなこと
- ・自治会の班でBBQを行っている。交流のため